

# 令和8年2月 青葉区議員団会議

## 次 第

日時：令和8年2月6日（金）書面開催

議長 伊藤 くみこ 議員

### 報告事項

- ・子育てしたいまち推進モデル地区振り返りについて（資料1） 【政策経営局経営戦略課】
- ・図書館ビジョンの推進に向けた取組について（資料2） 【教育委員会事務局中央図書館企画課】
- ・令和7年度青葉区区民意識調査の結果について（資料3） 【区政推進課】
- ・第5期青葉かがやく生き生きプラン（青葉区地域福祉保健計画）について（資料4） 【福祉保健課】

### その他

- ・青葉警察署管内の情勢について（資料5） 【青葉警察署】
- ・青葉区火災・救急状況（令和7年12月31日現在）（資料6） 【青葉消防署】

### 資料配付

- ・横浜市人口ニュース（令和8年1月1日現在）（資料7）

# 子育てしたいまち推進モデル地区 振り返りについて

政策経営局経営戦略課

## STEP 1

### モデル地区の設定

限られた経営資源をより効果的に活用するための手法の検討

#### 視点①

施策効果を高めるため、**複数の施策を連動させ、面的に実施する**

#### 視点②

全市に一度に施策を投入する前に、**実験的に施策を投入し効果検証を行う**

## STEP 2

### 施策展開

こども及び保護者に対して寄与する施策を中心にモデル地区にて試行展開

#### ○試行実施

- ・小学生の朝の居場所モデル事業
- ・生活サービスと連携したデマンド型交通
- ・団地再生モデル事業
- ・子どもの声を聴くワークショップ

#### ○子ども・子育て対象施策

- ・こどもログハウスの活用
- ・歩行空間整備、公園施設改良、通学路安全対策

#### ○公民連携

- ・次世代郊外まちづくり
- ・田園都市線たまプラーザ駅北側エリア・脱炭素推進モデル事業

## STEP 3

### 今後の展開

施策対象者が実感につながるよう全市で展開

○モデル地区という肩書は現行中期期間で終了。継続する各局事業は区と連携して推進

○今後は各区が主体となり、地域ニーズ・課題を把握。地域特性に応じ、区の事業と関連する局事業を合わせて展開

## 2 子育てしたいまち 推進モデル地区 総評

### ①モデル地区設置によるレガシー

- ・美しが丘公園北側歩行空間整備
- ・美しが丘公園の施設改良
- ・通学路安全対策
- ・子育て世代にとって魅力的な団地再生モデル事業
- ・ログハウスにおける子育て支援事業

### ②試行実施した取組の今後の展開

- ・朝の居場所づくりモデル事業  
→全市モデル10校で継続検証
- ・ログハウスのさらなる活用  
→指定管理公募要項検討
- ・こどもの声を聴く取組  
→ノウハウを施策立案過程に活用

### ③継続する取組

- ・あおばGO！実証運行の継続
- 【公民連携】
- ・次世代郊外まちづくり

### ④確認できた重要な視点

- ・地区を設定し、施策を寄せただけでは実感につながる相乗効果は生まれにくい。対象を絞り、施策を連動させて実施するなど、実感につながる施策投下が必要  
→市民の困り事を把握し、その対象者に繋がる事業・取組を複数投入することが重要。実施に当たっては地域に丁寧な説明を実施
- ・地域の課題・ニーズを最も把握している区役所の存在。市民の実感につなげるためには、区役所が地域のニーズや課題を把握し、区の主体的な発信が重要  
→区が把握する積み重ねられた地域の声を活用することが重要。地域に身近な存在がそのかじ取りを担うことが効果的

### ⑤今後の展開

- 地域特性を踏まえた区主体の取組の展開  
地域特性や情報(データ)に基づいて、市民ニーズや地域課題を把握し、様々な市の施策にも紐づけながら、市民とともに解決する仕組みを構築します。
- 【地域課題への対応力向上】  
区主体の取組展開や地域支援を強化し、地域課題への対応力を向上させます。

### 「区主体の取組展開や地域支援を強化し、地域課題への対応力向上」について、横浜市中期計画2026-2029(素案)に掲載

■令和7年 12月3日 記者発表  
横浜市中期計画2026-2029(素案)

横浜市中期計画2026-2029 (素案)

#### ■行政運営編 今後の方向性

##### 便利で安心な市民サービス

デジタル技術を活用した行政サービスの利便性向上 《取組1 (1) (2)》	地域課題の解決 《取組1 (3)》	公民連携 《取組1 (4)》
<p>デジタル技術を活用したサービスの導入、区役所窓口の改善等により、市民負担の軽減を進めます。 また、誰もがわかりやすく、より手軽に市政情報にアクセスできる環境づくりを進めます。</p>	<p>地域とのつながりを大切にし、協働を進めながら、地域支援・個別支援に取り組みます。 また、区役所が主体となり、地域特性を踏まえ、地域へアプローチしていくことで課題への対応力を向上します。</p>	<p>質の高い公共サービスの提供、地域活性化に向け、様々な民間事業者等と行政の対話による共創の取組を進め、公民連携により複雑化・多様化する社会課題の解決を図ります。</p>

#### ■行政運営編 取組1(3)地域課題の解決に向けた取組強化

##### 1 (3) 地域課題の解決に向けた取組強化

方向性

区役所の支援体制の強化による相談・支援の充実を図ると共に、分野横断的な「地域サポートチーム」を新たに設置し、地域主体の課題解決を支援します。  
また、地域課題の解決に向け、多様な主体との連携・コーディネートを図ります。

指標

地域サポートチームが伴走し  
課題解決に取り組む地区数  
【市民局】

現状

-

目標

全255  
地区

市民協働事業数【市民局】

現状

278件/年

目標

1,120件  
標 (4か年)

### ■横浜市中期計画2026-2029(素案) コラム

# 持続可能な区役所の実現に向けて

～市民サービスの向上と効率的な行政運営 区役所のリ・デザイン～

#### 取組の方向性

区役所を取り巻く状況の変化を踏まえ、引き続き、区役所が地域に寄り添い、多様化・複雑化する市民ニーズ・地域課題、複合化する福祉保健課題に対応するため、次の3つの方向性により取組を進めていきます。

#### 地域課題・福祉保健課題への対応力向上

区主体の取組展開や地域支援を強化し、地域課題への対応力を向上させます。また、複合的な福祉保健課題への相談・支援の取組を強化します。



#### 窓口サービスの利便性向上

デジタル技術を活用した「行かない」「待たない」「書かない」「回らない」窓口により、市民の皆様の利便性を向上させます。

#### 区役所業務の効率化

デジタル化の進展など取り巻く環境の変化も踏まえ、効率化の効果が見込める業務等を中心に内部事務の簡素化・集約化・DX等によるBPRを推進します。

#### 主な取組

##### 1 地域特性を踏まえた区主体の取組展開

地域特性やデータに基づいて、市民ニーズや地域課題を把握し、様々な市の施策にも紐づけながら、市民の皆様と共に解決する仕組みを構築します。

##### 2 地域主体の課題解決の支援の強化

分野横断的な「地域サポートチーム」の設置や社会参加のきっかけづくりから活動の担い手育成までの切れ目のない支援を通じて、課題解決に向けた多様な主体との連携・コーディネートを図ります。

##### 3 福祉保健課題に対する相談・支援の取組強化

複合的な福祉保健課題等への対応を強化するほか、ICTを活用した相談しやすい環境の整備や地域の支援者等からの相談を受ける窓口機能を強化し、セーフティネットを充実させます。



「地域でつくる子どもたちの居場所」ワークショップの様子

#### 現状と課題 〈地域支援のあり方〉

- ・人口減少やライフスタイルの多様化に伴い、地域のつながりが希薄になる中、地域活動の担い手不足や新たな担い手の発掘が課題
- ・高齢・障害・子育て・貧困など、複合的な福祉保健問題、制度の狭間の課題を抱えた人が増加

#### 目指す姿

区役所の機能強化や、デジタル技術の活用等を推進すると共に、地域特性に応じた地域支援の充実を図ることにより、地域の活動が活性化しています。

### 朝の居場所づくりモデル事業

#### ①【R5】学年によらず一定のニーズ

小学1年生～6年生の保護者  
平均約3割が利用希望

出典:アンケート調査(令和5年12月)

#### ②【R6】利用実績

美しが丘小学校  
432人中、利用実数は8人

美しが丘東小学校  
497人中、利用実数は9人

出典:こども青少年局

#### ③【R6】利用者増に向けた改善

保護者付き添い必須から保護者以外の方の付き添いも可能に変更

次年度実施校については4月から利用開始を実現

#### ④【R7】利用者の動向

モデル10校  
5,039人中、利用実数は73人  
(美しが丘小学校 :435人中、12人  
美しが丘東小学校:479人中、13人)

1・2年生の低学年の利用が約8割

出典:こども青少年局(令和7年11月末時点)

#### ⑤【R7】現状はニーズと利用実態に差

通年の利用動向並びに学年進級や事業の浸透によるニーズの変化を見ていく必要

#### ⑥今後の展開

今後の事業実施については、経年の利用数の推移や実施手法等の検討も含め、モデル事業の検証を実施

### こどもログハウスの活用

#### ①【R5】築30年・暑さ対策が必要

夏の厳しい暑さを踏まえ、ログハウスは段階的に空調を整備

合わせて居場所として何が求められるか検討

#### ④【R7】取組の幅を検討

ログハウスと公園を一体と捉え、既存遊具などとセットでより子どもの居場所となるような検討が必要

出典:モデル校在籍保護者アンケート調査(R7.7月)

#### ②【R6】ログハウスのニーズ

雨でも体を動かして遊べ、無料であることからこどもにも保護者にも人気

暑さ対策でミストシャワーなどを設置してほしい声

出典:こどもログハウス利用者アンケート(R6.7月)

#### ⑥今後の展開

ログハウス指定管理者公募要項に、こどもの居場所としての機能を充実させる取組として、横浜市中期計画に基づく公園等におけるこどもの体験機会の確保をログハウスでも実施することを記載。指定管理者の協力を要請

#### ③【R6】ニーズに応えるために

現行指定管理者公募要項内で実施可能な水遊びを試行実施

空調設備に加え、ミストシャワーや日よけを設置し、夏場でも快適な居場所を実現

あおばGO！

### ①【R5】美しが丘地区にエリア拡大

R4年度：新石川地区で実証実験開始

R5年度：美しが丘、あざみ野エリアに  
拡大

### ②【R6】子育て世代の負担軽減

あらゆる世代を対象とする中で、  
「子育て世代の負担軽減」にもつなが  
るのではないかとこの視点を持って  
実施

### ③【R6】子育て世代の利用傾向

高齢者だけでなく、子育て世代の  
利用者数が多い傾向

多世代の需要喚起につながる可能性

### ④【R6】利用実績

LINE登録者数：6,472人  
延べ利用者数：7,174人  
連携施設数：128施設  
協賛施設数：17施設

女性20～44歳の利用が多い

### ④【R7】実証実験

- ・「横浜市みんなのおでかけ交通事業」  
を活用した実証運行
- ・敬老パス対応等による高齢者層の  
利用拡大
- ・子育て世代を対象にした定期券割引  
の実施

### ⑥今後の展開

高齢者や子育て世代などに対する移  
動サービスの有効性を確認するととも  
に、周知・広報による利用促進や企業  
からの協賛金の獲得にも取り組み、そ  
れを踏まえた採算性なども考慮しなが  
ら本格運行の妥当性を確認

### こどもの声を聴く取組

#### ①【R5】国の動向

こども家庭庁において、こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン策定に向けた検討

横浜市会でもこども・子育て基本条例策定に向けた意見募集実施

#### ②【R6】地域住民と共に検討

ワークショップを開催し、こどもが当事者として参加する政策立案の場をデザインすることに挑戦

#### ③【R6】次年度施策へ実装

ワークショップ参加者からの声  
・ログハウスに子育て支援者会場がほしい  
→R7年度新設  
・こどもが安心して利用できる歩道、公園施設が良い  
→R6、7年度に施設改良

#### ④【R7】未来の横浜について

モデル地区での取組を踏まえ、こどもを対象に、デジタルを活用した意見募集及びワークショップを実施

中期計画を検討する際の施策テーマや方向性に生かす

参考：新たな中期計画の基本的方向

#### ④【R7】次期中期計画策定にあたり

計画策定において、初めて子ども専用の意見募集フォームを設定

参考：新たな中期計画の基本的方向

#### ⑥今後の展開


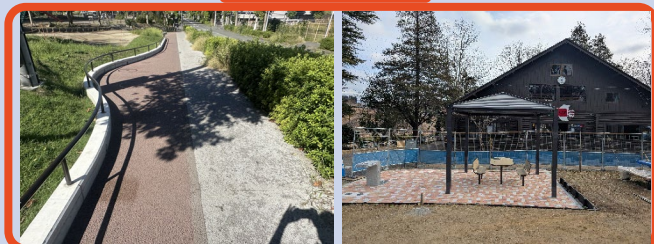
こどもが対象となる幅広い施策・事業においてこども自身が直接意見を表明できる機会を積極的に取り入れることや、意見を施策・事業に反映させるなど、全庁をあげて取り組みを推進

事業名	取組内容
<p>子育てしたいまち推進モデル地区 【政策経営局】 【青葉区】</p>	<p><b>【設置の狙い】</b> 限られた経営資源をより効果的に活用するための手法の検討 視点① 施策効果を高めるため、複数の施策を連動させ、面的に実施する 視点② 全市に一度に施策を投入する前に、実験的に施策を投入し効果検証を行う</p> <p><b>【R6年度の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもログハウス利用状況アンケート調査(6月) ・朝の居場所づくりモデル事業開始(7月) ・地域との意見交換(7月)</li> <li>・こどもログハウスにて水遊び等を実施(8月) ・あおばGO！実証実験開始(9月)</li> <li>・たまプラーザ駅北側エリア・脱炭素推進モデル事業 WLLに太陽光発電設備、カーシェア用EV充電器等の設置(10月)</li> <li>・こどもの声を聴くワークショップ開催(9月、11月) ・たまプラーザ団地アウトドアフェスティバル開催(11月、12月)</li> <li>・次世代郊外まちづくり～公共空間活用を通じたまちづくり活動 (12月) ・歩行空間道路部分工事開始(12月)</li> <li>・議員団会議出席(9月、2月) ・次世代ネットワーク情報連絡会出席(毎月) ・横浜市・東急定例会出席(毎月)</li> </ul> <p><b>【R7年度の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の居場所づくりモデル事業拡大実施(4月) ・子育て支援者会場をログハウスに新設(4月)</li> <li>・歩行空間園路部分及び公園施設改良工事開始(5月) ・あおばGO！実証実験開始(11月)</li> <li>・通学路安全対策工事開始(12月) ・こどもログハウス指定管理者公募要項検討(4月～3月)</li> <li>・たまプラーザ駅北側エリア・脱炭素推進モデル事業 WLLに蓄電池設置(10月)</li> <li>・議員団会議出席(6月、2月) ・次世代ネットワーク情報連絡会出席(毎月) ・横浜市・東急定例会出席(毎月)</li> </ul>

事業名	取組内容
子育てしたいまち推進モデル地区 【政策経営局】 【青葉区】	<p><b>【成果・課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小1の壁対策として、「小学生の朝の居場所づくりモデル事業」を試行実施のフィールドとして活用。事前の調査におけるニーズに比べ、実績は低調。今後の施策展開をするうえでの検討の土台となった。今後、各モデル校においては、必要な人に支援が行き届くように周知を行っていく。</li> <li>・こどもログハウスを活用した取組について、指定管理者の協力でどこまで実施可能か試行。既存取組のプラスαで市民に高い満足を得ることができることを把握。今後新たな公募要項に基づき選出された指定管理者の元、より市民が満足する取組実施を期待したい。</li> <li>・あらゆる世代を対象とした地域交通について、全市で唯一「子育て世帯の負担軽減」をポイントとして発信。新たな利用者層の発掘に寄与した。今後、採算性を整え正式導入につなげていきたい。</li> <li>・政策検討にあたり、こどもを一人の主体として声をきく取組に挑戦。子どもに対する向き合い方、内容の発信やフィードバック方法などのノウハウを蓄積。次期中期計画におけるこどもの声を聴く取組に活用</li> <li>・地区を設定し、施策を寄せただけでは実感につながる相乗効果は生まれにくい。対象を絞り、施策を連動させて実施するなど、実感につながる施策投下が必要</li> <li>・地域の課題・ニーズを最も把握している区役所の存在。市民の実感につなげるためには、区役所が地域のニーズや課題を把握し、区の主体的な発信が重要</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】〈次期中期計画素案・抜粋〉</b></p> <p>区役所の目指すべき姿：時代の変化に対応した持続可能な区役所の実現</p> <p>取組の方向性：地域課題への対応力向上➡区主体の取組展開や地域支援を強化し、地域課題への対応力を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域特性を踏まえた区主体の取組の展開                          地域特性や情報（データ）に基づいて、市民ニーズや地域課題を把握し、様々な市の施策にも紐づけながら、市民とともに解決する仕組みを構築します。</li> <li>■地域主体の課題解決の支援の強化                          分野横断的な地域サポートチームにより、地域のつながりづくりを支援するとともに、地域課題とその解決に必要な多様な主体との連携を図ります。</li> </ul>

事業名	取組内容
小学生の朝の居場所づくりモデル事業【こども青少年局】	<p><b>【令和5年度末の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年に実施した調査では朝の預かりサービスへのニーズが学年によらず一定のニーズがあることを確認。保護者の出勤が早いほどニーズが高く、特に1、2年生では5割を超えることが明らかになった。</li> <li>・モデル地区内でモデル校を設置し、検証することを決定</li> </ul> <p><b>【R6年度の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設を活用した安全・安心な居場所を提供。子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるとともに、保護者が安心して子育てをできるよう支援。モデル地区内2校で実施(7月～)。平日7時から利用可能。無料。</li> <li>・実施に際しては学校別に保護者説明会を実施(6月)</li> <li>・保護者・学校関係者アンケート実施(9月)</li> <li>・実施場所が体育館になることから、体育館空調の設置時期を教育委員会と調整</li> </ul> <p><b>【R7年度の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果や保育園朝延長保育の利用状況、駅からの地理的状況を踏まえ、全市で10校拡大実施(4月～)</li> <li>・拡大実施校には2月の入学前説明会、すぐーるや動画配信などで周知</li> <li>・利用者アンケート実施(7月～)(回答数337人)</li> </ul> <p><b>【利用実績・保護者の声】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数:令和6年度登録者数 13人、利用者数184人(延べ) 令和7年度登録者数123人、利用者数2844人(延べ)(令和7年度実績は令和7年11月末時点)</li> <li>・保護者の声:生活スタイル・働き方を維持でき、仕事と育児の両立ができた(出典:アンケート)</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R8年度はモデル校10校を継続</li> <li>・利用者の推移や実施手法等の検討も含め、引き続きモデル事業の検証</li> </ul>

### 3 個別事業 詳細

事業名	取組内容
歩行空間整備 公園施設改良 通学路安全対策 【道路局】 【みどり環境局】 【青葉区】	<p>【令和5年度末の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て世帯に対するアンケート調査において、「ベビーカーの移動のしやすさ」を重視する声が多い。</li><li>・子育てにやさしい道づくりとして歩行空間の環境改善を検討。モデル地区内所在の美しが丘公園付近で検討開始</li></ul> <p>【R6年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公園北側歩道の現地調査により、街路樹の根上り等でベビーカーや車いすが通行するための平坦性が確保されておらず、幅員は余裕がなく、すれ違いの際に不安を感じる状況を確認。地域の方々の意見も踏まえ、美しが丘公園整備と一体的に検討することを推進。第一段階として、道路部分の根上りの解消、既設側溝の蓋掛けによる歩道拡幅、通行の妨げや倒木の可能性がある街路樹を整理。美しが丘公園に関し、連合町内会長が地域の子育て世代にアンケートを実施。地域の方々と意見交換も踏まえ、暑さを凌ぐあずまや等の整備、安全・安心に利用できる遊具施設等の更新、見通しや安全性を確保する樹木の間引きや剪定など、公園施設改良工事の計画に反映</li></ul> <p>【R7年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・美しが丘公園園路部分を歩道と一体的に整備</li><li>・休憩施設や公園遊具など公園施設の改良工事を実施</li><li>・小学校周辺の通学路安全対策工事を実施</li></ul> <p><b>Before</b></p>  <p><b>After</b></p>  <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公園や道路整備にあたっては、引き続き子育て世代をはじめ、市民のニーズを踏まえた検討を進めるとともに、様々な工事を一体的に行うことで相乗効果が発生するポイントはないか考えながら推進</li></ul>

事業名	取組内容
<p>こどもログハウスの活用 【みどり環境局】 【こども青少年局】 【青葉区】</p>	<p>【令和5年度末の状況】 ・こどもたちが身近なところで木のぬくもりを感じ自由に集い、遊ぶことができる施設として都市公園内に市内各区18か所にこどもログハウスは設置されている。建設後30年以上経過しており、長寿命化に向け木材部分の補修などを推進。合わせて、近年の猛暑日の状況を踏まえ、暑さ対策として空調整備を実施 ・モデル地区内に所在するロケットハウスにて既存の施設の活用、暑さ対策などを連動した取り組みができないか検討</p> <p>【R6年度の取組】 ・ログハウス指定管理者と調整し、既存施設を活用した暑さ対策実施を検討。暑さ対策と子どもの遊び空間を実現するために、ミストの設置やログハウス正面エリアで水遊びを実施。また、管理者や利用者の要望を受け、こどもの遊び空間を広げるためにテラスに暫定的な日よけを設置</p> <p>【R7年度の取組】 ・ログハウス指定管理者更新時期をとらえ、公募要項にログハウス施設を生かしたソフト視点の取組を追加 視点:①自由な遊び場 ②日常的な居場所 ③日常と非日常の接点 ④自立・交流の場 ⑤地域のにぎわいのハブ</p> <p>【利用実績・保護者の声】 ・水遊び利用者数:50人 ・参加者の声: 水のイベントは夏遊びにととても良い。 楽しかった。／水鉄砲などの小道具もあれば。 (出典:アンケート)</p> <p>【今後の方向性】 ・ログハウス及び所在する公園内でこどもの居場所としての機能拡充およびこどもの体験機会の提供を検討</p>



事業名	取組内容
<p>こどもログハウスの活用 (子育て支援者事業) 【青葉区】</p>	<p><b>【令和5年度末の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しが丘公園の周辺には、様々な親子の居場所があるが、有料や屋外の居場所が多く、乳幼児を気軽に遊ばせられる環境が欲しいという声が届いていた。</li> </ul> <p><b>【R6年度の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しが丘公園周辺の住民を対象とした懇談会や子育て支援ネットワーク連絡会においても、子育て支援に関するニーズを把握。今までの市民意見とも合致したため、子育てについて相談できる場の検討を開始</li> <li>・乳幼児を遊ばせながら気軽に相談できる場を提供するとともに、子育て世代同士がつながりを持ち、子育てを学習しあい、地域での孤立予防を目指す場を目指して検討</li> </ul> <p><b>【R7年度の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しが丘公園こどもログハウスにおいて子育て支援者会場を新たに開始 (毎週金曜日9時30分～11時30分)</li> </ul> <p><b>【利用実績・保護者の声】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数:令和7年度 561人(親子延べ)【令和7年11月末時点】</li> <li>・利用傾向:1回平均17.0人。0～1歳児とその養育者の利用が多い。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の長期休み期間中等の混雑時にも、子育て相談がしやすい環境づくり</li> <li>・子育て支援策の空白エリアに対する子育て支援事業の必要性の検討</li> </ul>



事業名	取組内容
-----	------

団地再生モデル事業  
【建築局】

【R6年度の取組】  
 ・子育て環境の充実や子育て世代の交流機会の創出を図り、子育て世代に団地の住みやすさを実感してもらうことを目的として、たまプラーザ住宅管理組合と連携・協働し、団地での公園等を活用した子育て世代向けのイベント(防災アウトドア)や遊具設置等及び子育て世代向けの団地暮らしの魅力発信・コミュニティ形成の支援を実施

【R7年度の取組】  
 ・R6年度に実施して得られた知見やノウハウを活かして、管理組合等が主体となってコミュニティ形成に取り組む  
 ・これらの取組を他の高経年大規模団地にも共有するため、団地向けフォーラムや様々な情報媒体を通じて発信

【実績・参加者の声】  
 ・アンケートを踏まえ、障害の有無にかかわらず利用できる遊具や健康遊具へのニーズ、住民が交流できる集会所について、フレキシブルな利用、子育て世代を巻き込む仕組み、住民参加の負担軽減等が重要であることを確認

【今後の方向性】  
 ・コミュニティ形成に向けた動きを団地が自走していけるようにフォローを実施



キャンプ飯づくり



落ち葉で楽しむ



フリーマーケット



事業名	取組内容
<p>生活サービスと連携したデマンド型交通 【都市整備局】</p>	<p>【令和5年度末の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から新石川地区にて市や民間企業が連携して実証実験を開始。令和5年度は美しが丘地区、あざみ野地区を追加</li> <li>・モデル地区内においては買い物や通院など日常生活の移動が不便と感じる地域の移動課題を解決することに加え、子育て世帯の負担軽減(子どもの習い事の送迎等)の検討</li> </ul> <p>【R6年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃設定を変更(大人300円→400円、こども150円→200円)し、地域の生活サービス施設との連携を推進、認知度の向上や事業採算性の確保などを検討</li> <li>・収入増加を目指し、協賛企業からの運賃外収入を獲得</li> </ul> <p>【R7年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアを一部拡大して実証実験を継続(大場地域ケアプラザ)</li> <li>・曜日や時間を見直し(火曜～土曜、9時～20時→月曜～金曜、9時～19時)</li> <li>・運賃設定を変更(大人400円→500円)し、敬老パス利用の方は250円、福祉パス、特別乗車券利用の方は無料</li> </ul> <div data-bbox="1363 570 1566 754" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1574 570 1889 758" data-label="Image"> </div> <p>【利用実績・保護者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数: 令和6年度 7,174人(延べ) LINE友達登録数: 7,009名(令和7年12月末時点)</li> <li>・利用傾向: 高齢者だけでなく、子育て世代の利用も多い。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートなどを用いて、高齢者や子育て世代などに対する本移動サービスの有効性を確認します。周知・広報による利用促進や、企業からの協賛金の獲得にも取り組み、それを踏まえた採算性なども考慮しながら本格運行の妥当性を確認していく。</li> </ul>

事業名	取組内容
<p>子どもの声を聴くワークショップ 【政策経営局】</p>	<p>【令和5年度末の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭庁においては、令和4年度「こども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究」および令和5年度「多様なこども・若者の意見を聴く在り方及びこどもの意見反映に関する行政職員の理解・実践に向けたガイドライン作成のための調査研究」が進められた。横浜市会においても「こども・子育て基本条例」に関する市民意見募集が行われ、こどもの声をどのように受け止めるかの議論が進められた。</li> </ul> <p>【R6年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しが丘公園周辺エリアの子ども・保護者等子育て当事者たちのニーズを把握。子どもが施策立案プロセスに当事者として参加</li> <li>・現地WSは2回開催(9月、11月)(参加者:幼児6名、小学生11名、保護者6名、関係機関職員等4名、他委託業者20名程度)</li> <li>・WS①:公園周辺でフィールドワーク、WS②:理想のまちをつくるためのアイデア検討</li> <li>・WS実施前に事前研修としてオンライン研修を実施し、大人に対して参加する心構えを伝達</li> <li>・報告書作成後には子どもに対してWSでの意見に対するフィードバック会を実施</li> </ul> <p>【R7年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップで得た意見を踏まえ、歩行空間の整備推進、あおばGOの実験の継続</li> <li>・「未来の横浜」に関するアイデア募集(6月) こどもの声をきく取組として、次期横浜市中期計画基本的方向作成にあたり、計画策定では初めてこども向けの意見募集フォームを設置(9月)</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもが対象となる幅広い施策・事業においてこども自身が直接意見を表明できる機会を積極的に取り入れることや、意見を施策・事業に反映させるなど、全庁をあげて取り組みを推進</li> </ul>

#### ●青葉区役所としてのモデル地区振返り

- ・ 政策経営局が事業局の総合調整を行うことで、局区間の連携調整が円滑に進んだことや、モデル事業実施を契機に区内各課、事務所の連携強化を図ったことで、所管を跨いだ取組を実現
- ・ 美しが丘公園周辺の整備に際し、地域との意見交換や自治会によるアンケート等で把握した地域のニーズを取り入れ、快適な歩行空間やあずま屋などを整備
- ・ 公園の施設であるログハウスを活用した子育て支援事業を開設し、乳幼児期の子育て層のニーズに対応
- ・ 猛暑への機動的な対応として、こどもたちが遊ぶログハウスのテラスに日よけを設置

#### ●今後の方向性

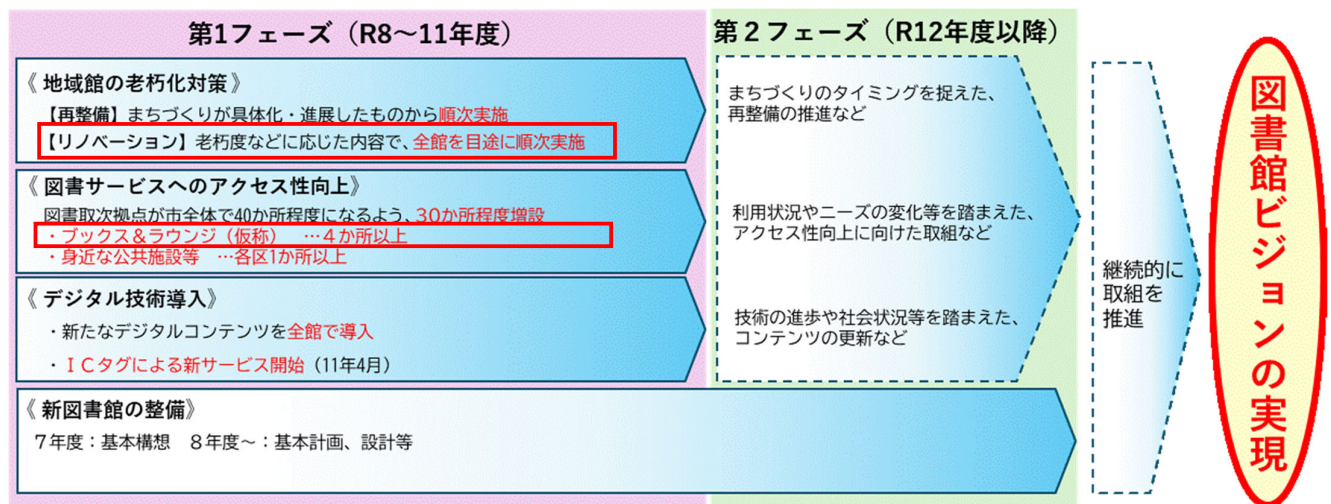
- ・ 区全体で取組むべき課題については、予算編成時点から関係課による検討を進めるなど、区役所内の連携を強化
- ・ モデル事業の経験を活かし、利用の多い公園の再整備で地域の声を取り入れるなど、地域特性やデータに基づいて、区民ニーズの反映に取組む
- ・ モデル事業での活用実績を踏まえ、ログハウスの指定管理者選定要綱について、区独自の項目を追加。より区民ニーズを反映した取組を展開・検討

## 図書館ビジョンの推進に向けた取組について

横浜市では、図書館ビジョン（令和6年3月策定）の具体化に向け、取組を推進しています。

青葉区においては、山内図書館・地区センターのリノベーションを進めるとともに、新たな図書取次拠点として「ブックス&ラウンジ（仮称）」を青葉台駅周辺に設置することとなりましたので、ご説明いたします。

### 1 図書館ビジョンの推進に向けた取組



### 2 山内図書館・地区センターのリノベーション

#### (1) 山内図書館・地区センターの課題

地域の皆様のご意見等から、以下の課題が把握されています。

- ・机、椅子等の使い心地の改善
- ・トイレ・設備や空間デザインの古さ
- ・ネットワーク環境が不十分
- ・空調、音環境の改善

また、図書館と地区センターが相互に往来できない構造であり、複合施設の利点を生かせない状況です。

#### (2) リノベーションの基本的考え方

図書館・地区センターを一体的にリノベーションし、課題に対応するとともに、より多くの地域の皆様が、気軽に立ち寄る居心地よく過ごせる場、読書、スポーツ、サークル活動等の多様な活動に触れ、人のつながりが広がる場となることを目指します。

(3) 今後の進め方 (予定)

令和7～8年 基本設計

令和9～11年 実施設計・工事

基本設計の過程で、地域の皆様のご意見を伺う機会を設け、計画内容に反映していきます。

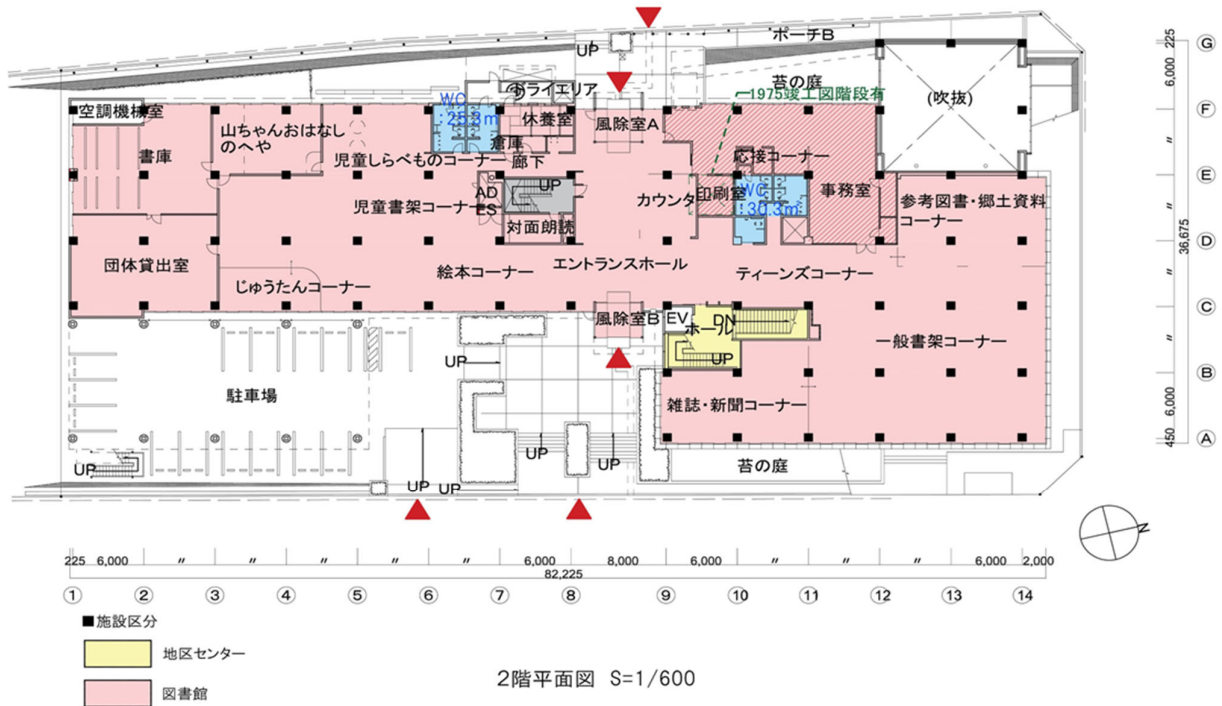
(4) 参考

ア 建物概要

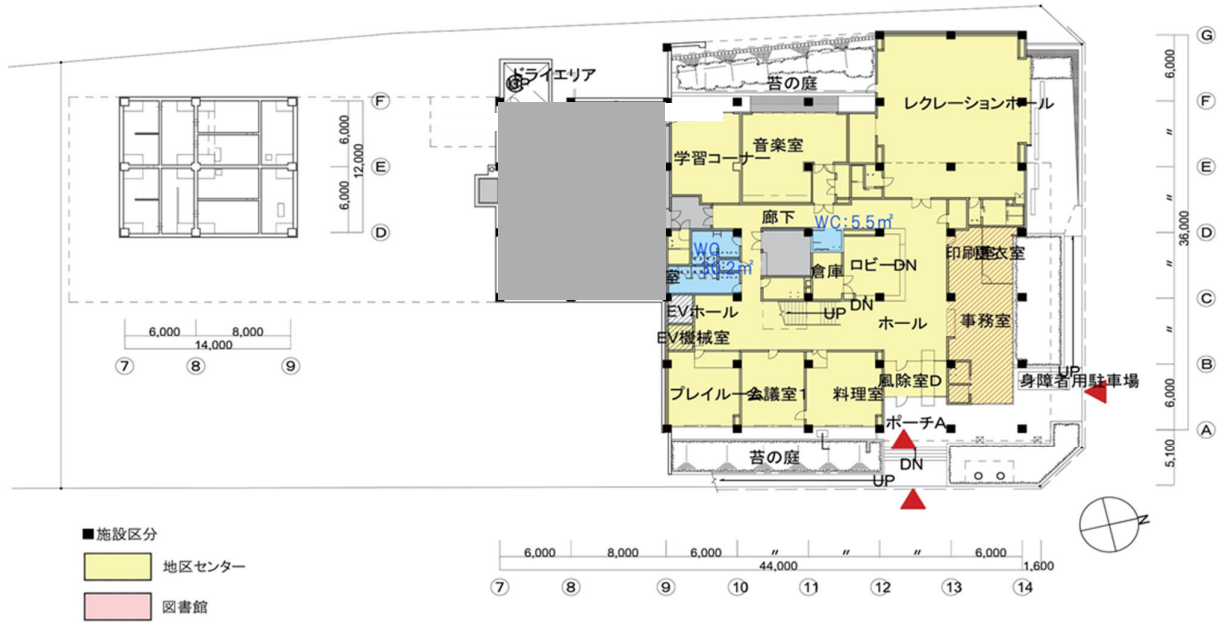
	山内図書館の概要	山内地区センターの概要
竣工日	1977 (昭和 52) 年 4 月 12 日	
敷地面積	3566.08 m <sup>2</sup>	
構造	鉄筋コンクリート造 3 階建/一部鉄骨造	
施設床面積	図書館部分：2 階	地区センター部分：1 階、3 階
延床面積	4,439.76 m <sup>2</sup>	

イ フロアマップ

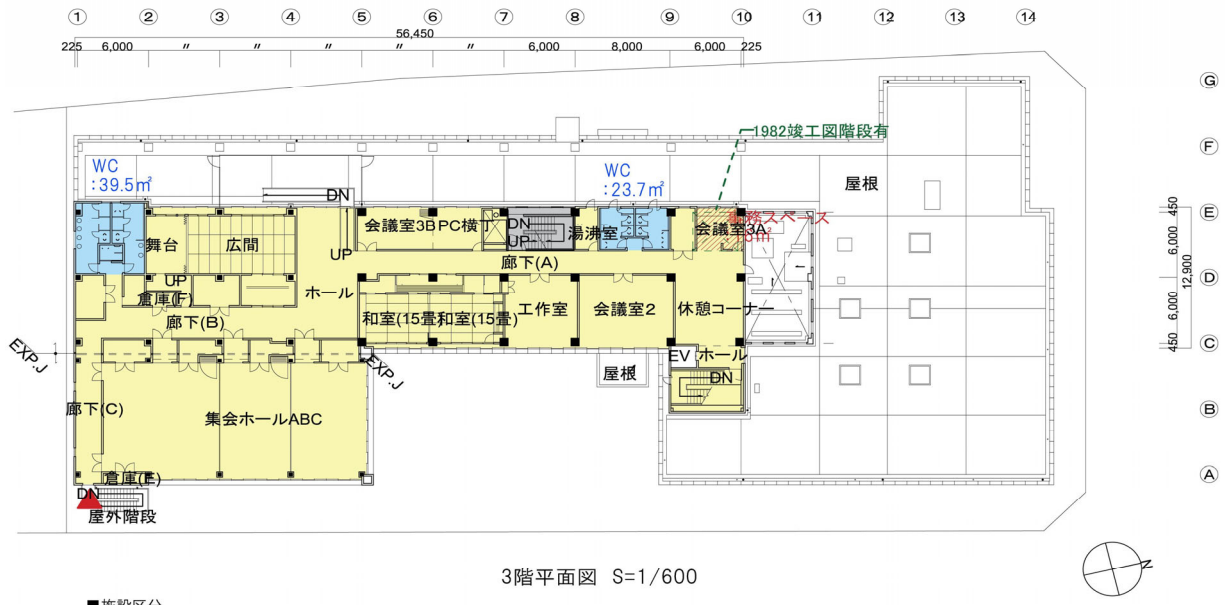
【山内図書館】



【山内地区センター】



1階平面図 S=1/600



3階平面図 S=1/600

### 3 「ボックス&ラウンジ（仮称）」の青葉台駅周辺への設置

#### (1) ボックス&ラウンジとは

図書サービスへのアクセス性を向上させ、市民の利便性向上とともに、新たな利用者層の呼び込みを狙いとして、通勤・通学や買い物などのついでに「ふらっと立ち寄れる読書環境」を整備していきます。

ボックス&ラウンジ（仮称）には、これまでの図書取次サービス（予約した市立図書館の本の受取・返却）に加え、来館者の興味関心を惹く魅力的な本棚づくり、居心地のよい滞在空間を備えます。

#### 【参考】図書サービスへのアクセス性向上の取組（全体像）

市民の皆様が図書サービスをより身近に感じていただけるよう、図書取次拠点の増設に向けて検討を進めています。令和8～11年度までの4年間で、現在12か所ある拠点を40か所程度になるように増やしていく予定です。地区センターなど身近な公共施設等を活用した従来型に加え、新たな形として、通勤、買い物等利便性の高い場所に設置する「ボックス&ラウンジ（仮称）」を市域4方面に1～2か所設置します。

8年度は、9年度の10か所開所に向けて、設計や工事を行います（身近な公共施設等の活用8か所、ボックス&ラウンジ（仮称）2か所）。

	ボックス&ラウンジ(仮称)《新規》	身近な公共施設等の活用《従来型》
特色	通勤、買い物等 <b>利便性の高い場所</b>	既存の公共施設等の活用による身近な場所
規模	図書貸出カウンター + <b>滞在空間</b>	図書貸出カウンターのみを想定
機能	図書貸出・返却の取次機能に加え、 <b>閲覧スペースや読み聞かせエリア等</b> を整備	図書貸出・返却の取次機能
箇所数	<b>市域4方面に、1～2か所程度設置</b>	各区1か所以上、区の規模等に応じて設置

#### 【参考】ボックス&ラウンジ（仮称）での想定シーン



#### (2) 設置場所

青葉台駅周辺の商業施設等と調整中

#### (3) 今後の進め方（予定）

令和8年度 設計・工事

令和9年春 オープン（予定）

※令和9年春オープンは「青葉台駅周辺」「上大岡駅周辺」を想定。

# 令和7年度青葉区区民意識調査の結果について

対象者 青葉区内に居住する満18歳以上5,000人(外国人75人含む) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出  
調査方法 郵送又はインターネット回答によるアンケート方式 調査期間 令和7年6月2日(月)～6月20日(金)  
有効回答数 2,127(回収率42.5%)

※百分比はnを100.0%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示しています。  
このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合があります。

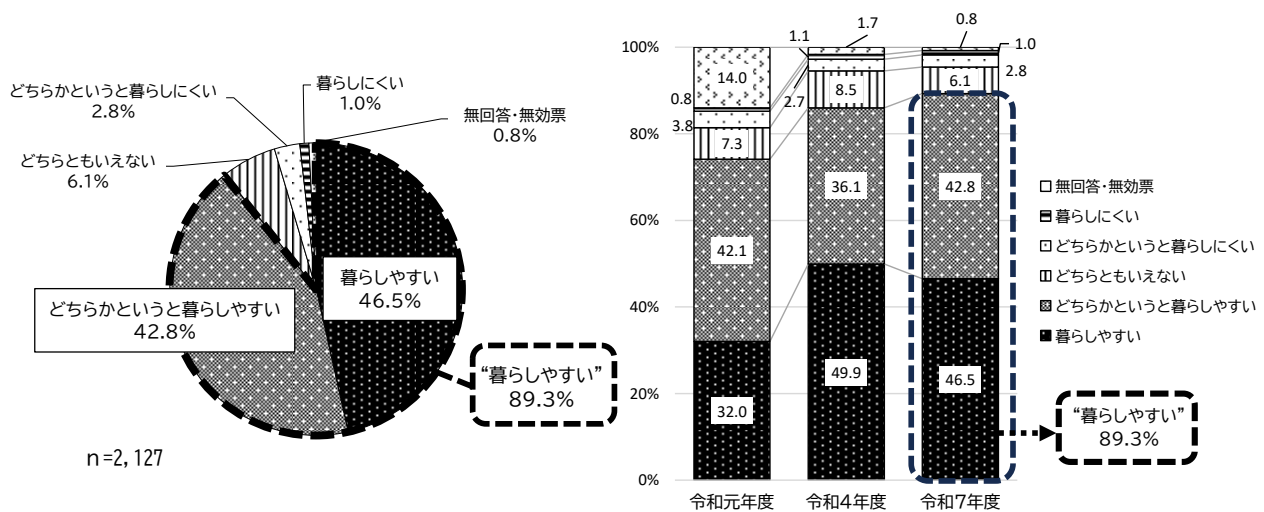
1

## 生活環境

### 9割近くが、生活環境において「暮らしやすい」又は「どちらかという暮らしやすい」と回答

- 現在の住まいの周辺的生活環境が“暮らしやすい”(「暮らしやすい」+「どちらかという暮らしやすい」の合計)の割合は89.3%となりました。
- 令和4年度と比べると、「暮らしやすい」が減り、「どちらかという暮らしやすい」が増加しました。令和元年度と比べると「暮らしやすい」は増加しました。

Q. あなたは、現在のお住まいの周辺的生活環境をどのように感じていますか。

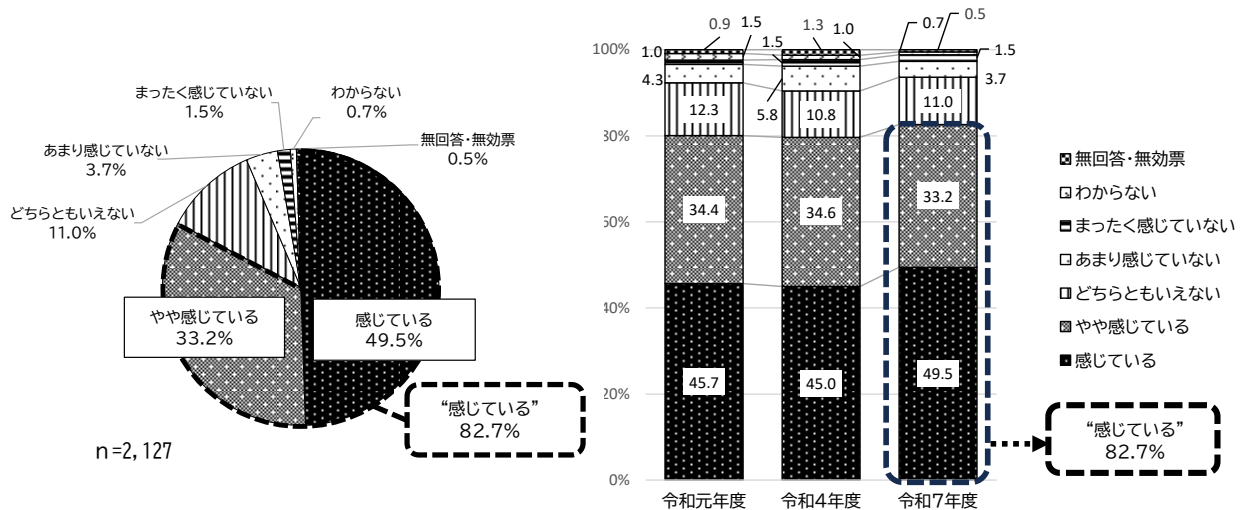


## 青葉区への 愛着・誇り

### 愛着や誇りを「感じている」又は「やや感じている」と回答した割合は8割を超える

- 青葉区に愛着を“感じている”(「感じている」+「やや感じている」の合計)割合は、82.7%となりました。
- 令和元年度、令和4年度と比べると、「感じている」が増加しました。

Q. あなたは、青葉区に対して、愛着や誇りを感じていますか。

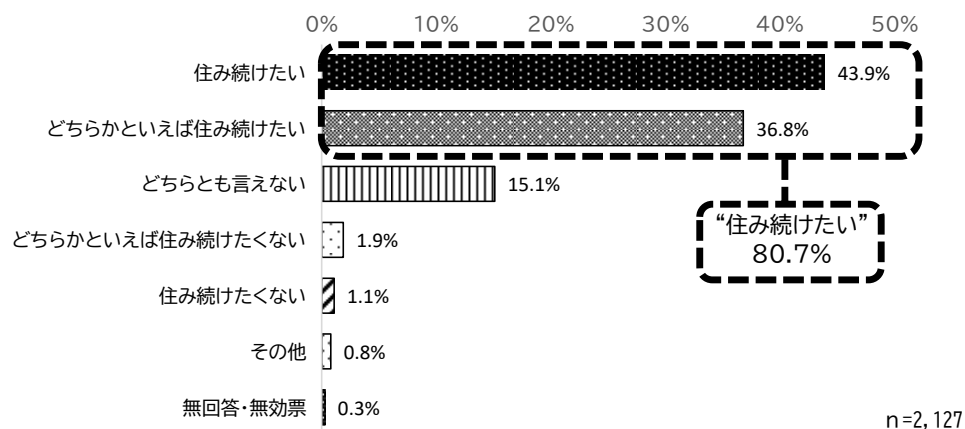


## 定住意識

### 「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合は8割を超える

- 青葉区に“住み続けたい”(「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」の合計)割合は、80.7%となりました。

Q. あなたは、青葉区に住みつづけたいと思いますか。



- お住まいの住環境にとって重要だと思う点は、「治安の良さ」が39.6%と割合が最も多く、次いで「日頃の買い物などの利便性」(37.0%)、「交通(通勤・通学など)の便」(36.8%)でした。

Q. お住まいの住環境にとって、特にどれが重要だと思いますか。(複数回答3つまで可)

n=2,127

順位	お住まいの住環境にとって重要だと思う点(上位5位)	
1位	治安の良さ	39.6%
2位	日頃の買い物などの利便性	37.0%
3位	交通(通勤・通学など)の便	36.8%
4位	病院・診療所などの地域医療	29.9%
5位	静かな住環境	17.6%

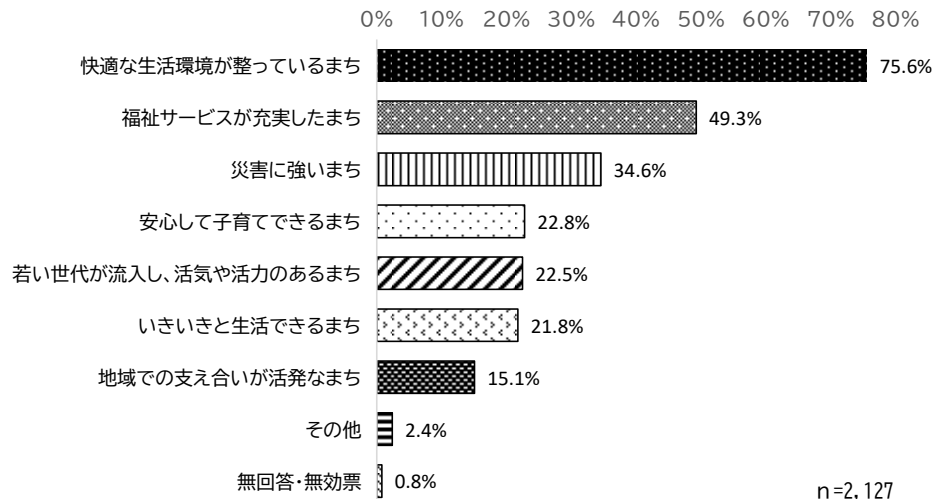
【年代別集計】(上位3位)

年代	1位	2位	3位
10代	交通(通勤・通学など)の便 (46.2%)	治安の良さ(42.3%)	日頃の買い物などの利便性 (34.6%)
20代	交通(通勤・通学など)の便 (56.8%)	日頃の買い物などの利便性 (38.7%)	治安の良さ(36.9%)
30代	交通(通勤・通学など)の便 (43.7%)	治安の良さ(40.4%)	日頃の買い物などの利便性 (37.2%)
40代	日頃の買い物などの利便性 (49.5%)	治安の良さ(46.3%)	交通(通勤・通学など)の便 (40.7%)
50代	治安の良さ(38.9%)	日頃の買い物などの利便性 (38.2%)	交通(通勤・通学など)の便 (36.3%)
60代	治安の良さ(42.1%)	病院・診療所などの地域医療 (33.7%)	交通(通勤・通学など)の便 (31.9%)
70~74歳	病院・診療所などの地域医療 (47.1%)	日頃の買い物などの利便性 (37.8%)	交通(通勤・通学など)の便 (36%)
75歳以上	病院・診療所などの地域医療 (38.8%)	治安の良さ(34.6%)	日頃の買い物などの利便性 (33.3%)

## 7割半ばが「快適な生活環境が整っているまち」であってほしいと回答

- 将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思うかという質問に対して、「快適な生活環境が整っているまち」が75.6%と割合が最も高く、次いで「福祉サービスが充実したまち」(49.3%)、「災害に強いまち」(34.6%)でした。

Q. あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。(複数回答3つまで可)



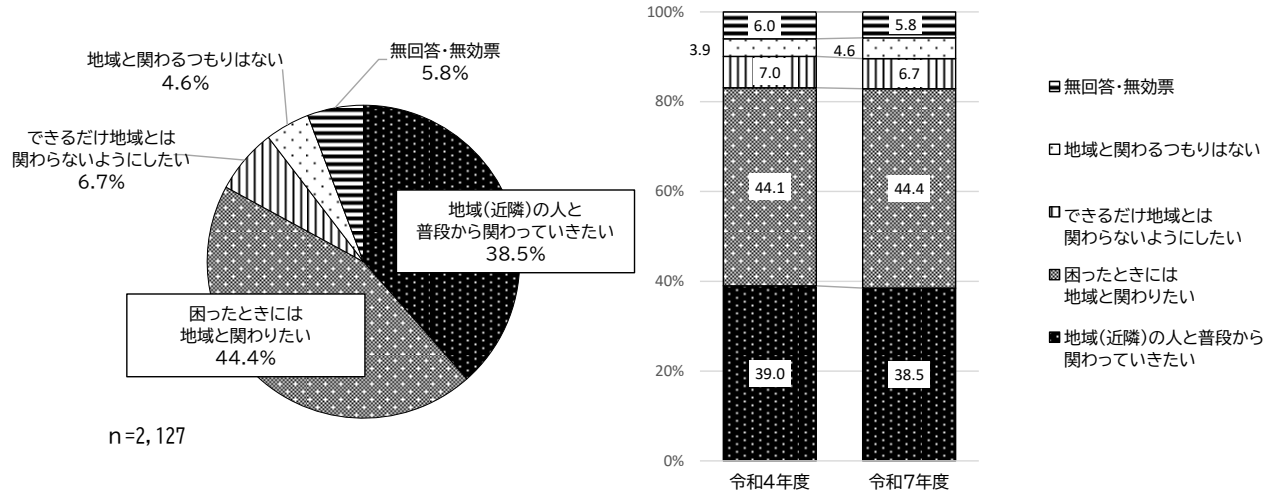
### 【年代別集計】(上位3位)

年代	1位	2位	3位
10代	快適な生活環境が整っているまち(73.1%)	安心して子育てできるまち(34.6%)	若い世代が流入し、活気や活力のあるまち(23.1%)
20代	快適な生活環境が整っているまち(75.7%)	安心して子育てできるまち(49.5%)	災害に強いまち(35.1%)
30代	快適な生活環境が整っているまち(80.3%)	安心して子育てできるまち(58.5%)	福祉サービスが充実したまち(35%)
40代	快適な生活環境が整っているまち(77.5%)	福祉サービスが充実したまち(43.2%)	安心して子育てできるまち(40.4%)
50代	快適な生活環境が整っているまち(78.8%)	福祉サービスが充実したまち(53.1%)	災害に強いまち(38.7%)
60代	快適な生活環境が整っているまち(79.5%)	福祉サービスが充実したまち(56%)	災害に強いまち(37.7%)
70~74歳	快適な生活環境が整っているまち(68%)	福祉サービスが充実したまち(60.5%)	災害に強いまち(37.8%)
75歳以上	快適な生活環境が整っているまち(67.2%)	福祉サービスが充実したまち(56.6%)	災害に強いまち(32.6%)

## 4割半ばが「困ったときには地域と関わりたい」と回答

- 地域との関わり方について、「困ったときには地域と関わりたい」が44.4%と最も高く、次いで「地域(近隣)の人と普段から関わっていききたい」が38.5%でした。

Q. あなたは、地域とどのように関わっていききたいと思いますか。



## 6割半ばが「水や食料の備蓄」、5割近くが「トイレパック(携帯トイレ)の準備」と回答

- 実施している防災対策について、「水や食料の備蓄(一人当たり3日以上)」が64.9%と割合が最も高く、次いで「トイレパック(携帯トイレ)の準備」(49.7%)、「ニュースなどでの気象状況の把握」(46.0%)でした。

Q. あなたが実施している防災対策は何ですか。(複数回答可)

n=2,127

順位	既に取り組んでいること(上位5位)	
1位	水や食料の備蓄(一人当たり3日以上)	64.9%
2位	トイレパック(携帯トイレ)の準備	49.7%
3位	ニュースなどでの気象状況の把握	46.0%
4位	非常持出袋	41.2%
5位	大きな地震が発生した時の避難場所や避難経路の確認	37.9%

## 「在宅時でも必ず施錠」と回答した割合は8割を超える

- 実施している防犯対策について、「在宅時でも必ず施錠する」が80.2%と割合が最も高く、次いで「自宅に多額の現金を保管していない」(63.3%)、「自宅への来訪者は、ドアスコープ等で確認してから対応している」(57.6%)でした。

Q. あなたが実施している防犯対策は何ですか。(複数回答可)

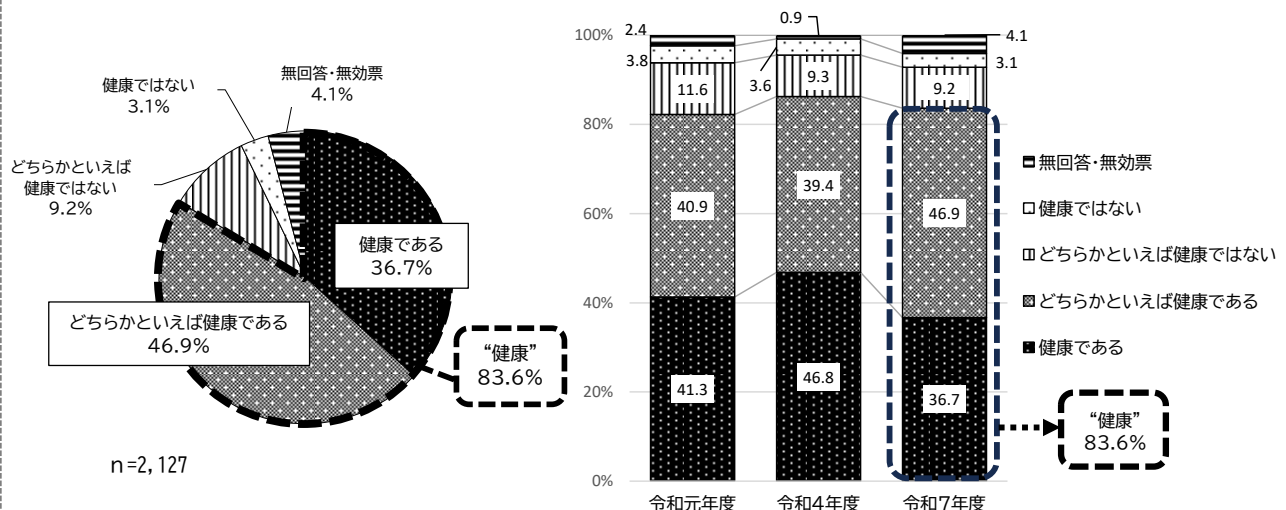
n=2,127

順位	既に取り組んでいること(上位5位)	
1位	在宅時でも必ず施錠する	80.2%
2位	自宅に多額の現金を保管していない	63.3%
3位	自宅への来訪者は、ドアスコープ等で確認してから対応している	57.6%
4位	夜間帯に一人で歩くときは、なるべく人通りの多い明るい場所を歩くようにしている	42.5%
5位	自宅のドアには複数の補助錠を取り付けている	35.2%

## 8割半ばが「健康である」又は「どちらかといえば健康である」と回答

- 健康状態が“健康”(「健康である」+「どちらかといえば健康である」の合計)の割合は、83.6%でした。
- 令和元年度、令和4年度と比べると、「健康である」が減少し、「どちらかという健康である」が増加しました。

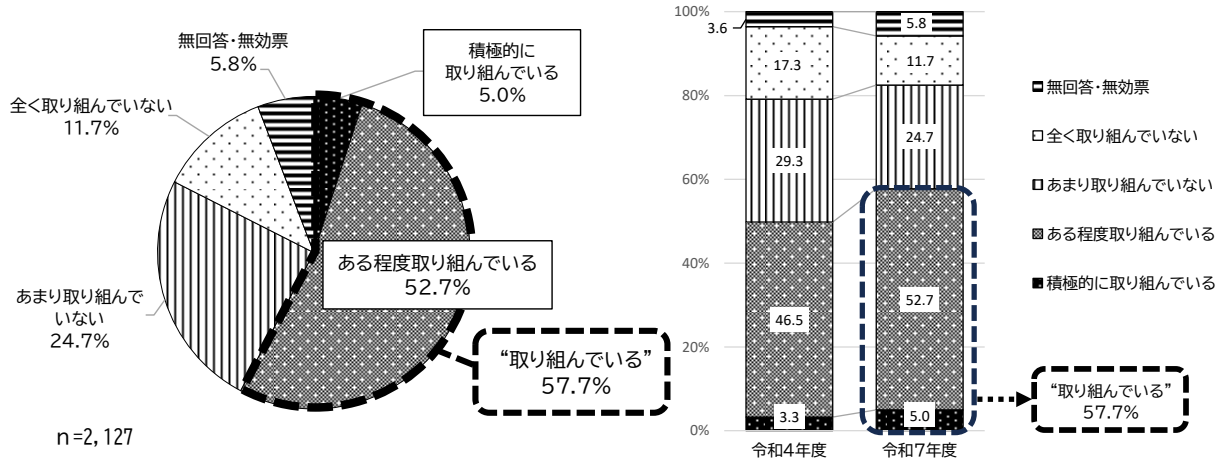
Q. あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものを選択してください。



## 5割半ばが「積極的に取り組んでいる」又は「ある程度取り組んでいる」と回答

- 脱炭素化に“取り組んでいる”（「積極的に取り組んでいる」＋「ある程度取り組んでいる」の合計）割合は、57.7%でした。
- 令和4年度と比べると、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」いずれも増加しました。

Q. あなたは、「脱炭素化」に向けた取組について、どの程度取り組んでいますか。



# 第5期青葉かがやく生き生きプラン (青葉区地域福祉保健計画)について

第5期計画（計画期間：R8年4月～R13年3月）が策定完了しました。  
3月下旬に計画冊子と概要版を送付します。

青葉区役所 福祉保健課

令和8年2月6日 青葉区議員団会議

# 第5期計画の構成

めざす姿

誰もが“お互いさま”と思えるまち青葉区

柱①

知る・理解する

柱②

つながる・支え合う

柱③

いきいき・活躍

策定・推進の支援

区計画

地区別計画

解決困難な地域課題

# 地区別計画一覧

【地区名】・めざしたいまちの姿・目標

## 【中里地区】

みんなで支えあい、ふるさととして愛されるまち”中里”

- ① みんなが助け合い、協力できるまち
- ② 地域力を高める人が育つまち
- ③ 高齢者や障がい者が生き生きと暮らせるまち
- ④ 安心して子どもを育てられるまち

## 【上谷本地区】

ご近所同士のつながり・支えあい・きずなを深めるまち

- ① 住民同士の交流とつながりを深めお互いに支え合おう！
- ② 防災、減災、防犯意識を高め、安心安全なまちづくりに努めよう！
- ③ 誰もが地域情報を共有できるよう分かりやすく届けよう！

## 【中里北部地区】

一人ひとりが地域づくりのために行動(考えて動く)し、安心して住み続けられるまち

- ① 子どもから高齢者まで、それぞれが地域で役割を持つ場を作ろう
- ② 地域全体でつながり、ちょっとした変化に気づいて、共に話し合おう
- ③ 時代の変化に合わせたやり方を取り入れながら活動していこう

## 【谷本地区】

誰もが地域のつながりを深め、お互いに助け合える優しいまち

- ① つながるきっかけを増やしていこう！
- ② 見守り・付き合いを一步進めていこう！
- ③ 災害時に誰もが安全に避難できるように協力し合っていこう！

## 【市ケ尾地区】

みんなで地域のつながりを深め、楽しくイキイキと暮らせるまち市ケ尾

- ① 一人一人がつながって、誰もがはつらつと暮らせる街に！
- ② みんながつながって、高齢者や障がいのある方、子育てファミリーに優しい街に！
- ③ 日頃からつながって、誰もが安心して暮らせる街に！

## 【恩田地区】

「地域を愛する気持ち」を大切に、お互いを支えあうまち

- ① 地域活動への参加のきっかけ(機会・場)をつくろう
- ② 団体同士の横のつながりを強めよう
- ③ 地域での見守りや地域活動を通じて、誰もが安心・安全に暮らせる地域にしよう

# 地区別計画一覧

【地区名】・めざしたいまちの姿・目標

## 【青葉台地区】

みんなが活躍し、ふれあいが深まるかがやくまち

- ① 顔の見える地域コミュニティをつくろう！
- ② すべての住民を地域で温かく見守っていこう！
- ③ 地域情報をより多くの住民に伝えていこう！

## 【山内地区】

誰もが地域とつながり「ここに住んで良かった」と思えるまち

- ① 地域の一人ひとりがつながろう！
- ② 地域のみんで支え合おう！
- ③ 地域の絆を強めよう！

## 【奈良地区】

みんなにやさしく活力のあるまち

- ① 親しみの持てる地域コミュニティをつくろう！
- ② 高齢者の交流を活性化させよう！
- ③ 「地域の子ども」という視点で、子どもの育ちを応援しよう！

## 【荏田地区】

「荏田っていいな」って言えるまち

～みんなが地域に愛着を持ち、安心して暮らせるまち～

- ① 住民どうしのつながりをつくろう！
- ② スポーツや健康づくりに取り組もう！
- ③ “助け合い”の輪を広げよう！

## 【奈良北地区】

世代や文化をこえて、お互いに助けあい、楽しく安心して暮らせる団地

- ① どもから高齢者まで、緩やかなつながり・交流をつくろう！
- ② 若い世代や転入者に声を掛け、地域の活動者を増やそう！
- ③ 住民や団体の連携・分担で、災害時も含めた安心をつくろう！

## 【荏田西地区】

身近に知り合いが多く、お互いが支え合えるつながりのあるまち

- ① 地域で知り合いが増える関係づくりと活動を進めよう！
- ② 子どもから高齢者、障がいのある方がいきいきと生活する地域づくりを進めよう！
- ③ 誰もが自分らしく参加して、地域を支える活動を担っていこう！

# 地区別計画一覧

【地区名】・めざしたいまちの姿・目標

## 【新荏田地区】

お互いに声をかけあい、子どもから高齢者まで、みんなを大切に  
するまち

- ① 地域に愛着を持ち、子どもも大人も世代を超えてつながろう！
- ② 助け合いの輪を広げ、困った時に支え合える地域にしよう！
- ③ 元気に住み続けられるよう、健康づくりを進めよう！

## 【すすき野地区】

「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまち

～地域コミュニティに多世代が参加、和やかに安心して暮らせる～

- ① 魅力ある地域を目指して
- ② 生活環境の充実
- ③ 地域の交流を進めよう！

## 【美しが丘地区】

「美しが丘」らしさにあふれたまち

※「美しが丘」らしさとは：みんなが自分らしく自由で、自立した心豊かな暮らしをめざすこと。時には一人で、時には仲間と。互いにつながり、支え合う暮らし

- ① 親も子どもも笑顔になる子育てができるまち
- ② 高齢者の「好き」がみつかるまち
- ③ まちを楽しむ仲間が集うまち



青葉区地域福祉保健計画  
キャラクター  
あおちゃん



# 青葉警察署管内の情勢について

令和8年2月6日  
青葉警察署  
045(972)0110

## 1 防犯関係

(1) 刑法犯認知状況（令和7年末時点・暫定値） (件)

青葉区内	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	合計
令和6年	4	84	728	89	35	130	1070
令和7年	3	73	682	69	17	97	941

(2) 主な窃盗犯認知状況（令和7年末時点・暫定値） (件)

青葉区内	空き巣	忍込み	車上ねらい	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗
令和6年	12	8	32	19	26	253
令和7年	19	5	30	19	27	187

(3) 特殊詐欺認知状況（令和7年末時点・暫定値） (件)

青葉区内	オレオレ	キャッシュカード 詐欺盗	預貯金	還付金	その他	総数	被害金額
令和6年	16	2	13	8	4	43	約1億6,500万円
令和7年	17	2	8	4	4	35	約1億5,000万円

※ 特殊詐欺阻止状況（令和7年末時点・暫定値）  
金融機関職員、コンビニ店員等による阻止事案  
28件（前年同期比－27件）

(4) 情報発信

- ・ ピーガルくん安全メールによる注意喚起情報（子供女性への声掛け、その他不審者情報等）の発信（青葉署発信 63件）
- ・ 防犯講話、ラジオ番組出演などによる広報啓発

(5) 主な取組み（8月～12月）

- ・ 安全安心まちづくり旬間時における著名人を招いての出陣式の実施
- ・ 金融機関における強盗訓練の実施
- ・ 青葉区民まつり、年金支給日等における防犯キャンペーンの実施
- ・ 管内所在の学校や各施設における不審者対応訓練
- ・ 特殊詐欺阻止功労者に対する感謝状の贈呈（8件）

## 交通事故発生状況【青葉区内】（令和7年12月31日現在）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
令和7年	616	2	720
令和6年	561	1	666
前年同期比	+55	+1	+54

## 【神奈川県内】（令和7年12月31日現在）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
令和7年	21,320	139	24,437
令和6年	20,750	109	24,123
前年同期比	+570	+30	+314

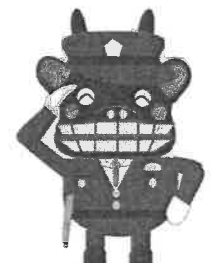
※ 数値にあつては暫定値となります

## 神奈川県内交通事故多発地点ワースト10（令和7年7月発表）

1位	横浜市旭区	保土ヶ谷バイパス（桐が作）	37件
2位	横浜市青葉区	江田駅前交差点付近	33件（R6 10件 R7・7件）
3位	横浜市戸塚区	保土ヶ谷区 環2境木交差点付近	30件
3位	横浜市青葉区	恩田陸橋下の県道交差点付近	30件（R6 12件 R7 8件）
5位	横須賀市	大津交差点付近	27件
5位	横浜市旭区	国道16号川島町付近	27件
7位	横浜市青葉区	荏田交差点付近	26件（R6 5件 R7 2件）
8位	相模原市南区	中和田交差点付近	24件
8位	横浜市金沢区	六浦中学校入口交差点付近	24件
8位	横須賀市	佐原交差点付近	24件

過去5年（2019年～2023年）で発生した交通事故（人身事故）約11万件のデータから抽出したものの。

- ・江田駅前交差点 令和7年7月28日実施 信号秒時変更
- ・恩田陸橋下の県道交差点 令和7年12月23日実施  
午前7時から午後7時右折直進禁止規制
- ・荏田交差点 1年を通じて取締りを実施した。



# 知っていますか? 自転車の違反に 青切符導入!

取り締まりの対象年齢は

**16歳**以上!

## 交通反則通告制度

### 自転車等に対する交通反則通告制度 (「青切符」による取り締まりを行う反則金制度)が適用に

(法第125条及び別表第2関係)

※交通反則通告制度とは、比較的軽微な交通違反に交通反則告知書(いわゆる「青切符」)が交付され、違反者が反則金を納付すれば刑事罰に科されない制度です。

自転車関連事故や自転車の違反による検挙件数が増え、取り締まりに実効性や合理化が求められる中、刑事手続とは異なるこの制度の導入により、比較的軽微な違反が迅速かつ円滑に処理されます。

こんな違反は  
**反則金**  
の対象に!!  
※一例を記載



携帯電話の使用等(保持)  
**反則金 12,000円**

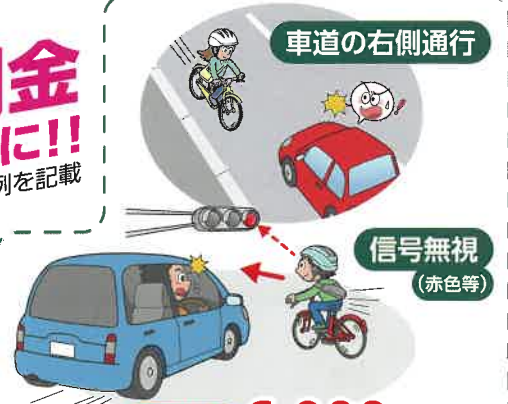
遮断踏切立ち入り  
**反則金 7,000円**



並進 二人乗り  
**反則金 3,000円**



車道の右側通行  
信号無視(赤色等)  
**反則金 6,000円**



一時不停止  
**反則金 5,000円**



イヤホンの使用  
無灯火  
**反則金 5,000円**



走行中に携帯電話を使用して交通の危険が生じたり、「酒酔い運転」や「妨害運転」など、特に悪質な違反行為は交通反則通告制度の対象外のため、これまで通り赤切符を受け、刑事手続となります。

警察官の指導や警告を受けた場合はすみやかに従わなければなりません。警告に従わずに違反行為を続けた場合や、通行車両や歩行者に危険を生じさせる行為、交通事故につながるような悪質・危険な違反行為は、取り締まりの対象となります。



※平成27年6月1日より、一定の危険な行為を3年以内に2回以上行くと、自転車運転者講習の受講が義務付けられています(14歳以上が対象)。

取り締まりは、自転車事故が多い時間帯や場所等重点的に実施されます。

車両の運転者としての自覚と責任を持ち、今まで以上に、ルールをしっかり守りましょう。

自転車の基本的なルール「自転車安全利用五則」を確認してみましょう。



# 自転車をはじめとする軽車両の反則行為と反則金の額

反則行為の種類		反則金の額 (円)
携帯電話使用等(保持) 注1		12,000
放置駐車違反	駐停車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等	12,000
	駐停車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等以外	10,000
駐車禁止場所等	駐車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等	11,000
	駐車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等以外	9,000
遮断踏切立入り		7,000
速度超過	25km以上30km未満	12,000
	20km以上25km未満	10,000
	15km以上20km未満	7,000
	15km未満	6,000
駐停車違反	駐停車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等	9,000
	駐停車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等以外	7,000
	駐車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等	8,000
	駐車禁止場所等 高齢運転者等専用場所等以外	6,000
信号無視	赤色等	6,000
	点滅	5,000
通行区分違反		
追越し違反		
踏切不停止等		
交差点安全進行義務違反		6,000
環状交差点安全進行義務違反		
横断歩行者等妨害等		
安全運転義務違反		
通行禁止違反		
歩行者用道路徐行違反		
歩行者等側方通過義務違反		
急ブレーキ禁止違反		
法定横断等禁止違反		
路面電車後方不停止		
優先道路通行車妨害等		
環状交差点通行車妨害等		
徐行場所違反		
指定場所一時不停止等		5,000
幼児等通行妨害		
安全地帯徐行違反		
被側方通過車義務違反		
通行帯違反		
道路外出右左折合図車妨害		
指定横断等禁止違反		
車間距離不保持		
進路変更禁止違反		
追い付かれた車両の義務違反		

反則行為の種類		反則金の額 (円)
乗合自動車発進妨害		
割込み等		
交差点右左折等合図車妨害		
交差点優先車妨害		
緊急車妨害等		
交差点等進入禁止違反		
無灯火		
減光等義務違反		
合図不履行 注2		5,000
合図制限違反 注2		
警音器吹鳴義務違反 注2		
乗車積載方法違反		
軽車両整備不良		
自転車制動装置不良 注1		
泥はね運転		
転落等防止措置義務違反		
転落積載物等危険防止措置義務違反		
安全不確認ドア開放等		
停止措置義務違反		
公安委員会遵守事項違反		
通行許可条件違反		
歩道徐行等義務違反 注3		3,000
路側帯進行方法違反		
並進禁止違反		
軌道敷内違反		
道路外出右左折方法違反		
交差点右左折方法違反		
環状交差点左折等方法違反		
軽車両乗車積載制限違反		
制限外許可条件違反		
原付等牽引違反		
自転車道通行義務違反 注3		
警音器使用制限違反		

令和8年4月1日施行



注1 「携帯電話使用等(保持)」「自転車制動装置不良」は自転車を対象

注2 「合図不履行」「合図制限違反」「警音器吹鳴義務違反」は自転車以外の軽車両を除く

注3 「歩道徐行等義務違反」「自転車道通行義務違反」は普通自転車を対象

**もし、事故を起こしたり  
事故にあったら...**

負傷者がいる場合には何より先に救護にあたり、迷わず119番通報をして救急車を呼びましょう。  
二次災害を防ぐため、安全を確保してから110番通報して警察に連絡しましょう。



青葉区議員団会議

令和8年2月6日

## 青葉区 火災・救急状況

令和7年12月31日(水)現在

青葉区内 火災発生状況				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
件 数	38件	30件	8件	
火災 種 別	建 物	21件	19件	2件
	林 野	0件	0件	0件
	車 両	2件	5件	△ 3件
	船 舶	0件	0件	0件
	航 空 機	0件	0件	0件
	そ の 他	15件	6件	9件
損 害	焼損床面積	470㎡	682㎡	△ 212㎡
	死 者	2人	2人	0人
	焼死等	1人	2人	△ 1人
	放火自殺	1人	0人	1人
	負 傷 者	10人	7人	3人
青葉区内 主な出火原因				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
1 放火(疑い含む)	9件	7件	2件	
2 たばこ	7件	1件	6件	
3 こんろ	7件	4件	3件	
4 電気機器	4件	3件	1件	
5 灯火	2件	0件	2件	

横浜市内 火災発生状況				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
件 数	778件	678件	100件	
火災 種 別	建 物	493件	457件	36件
	林 野	0件	0件	0件
	車 両	64件	59件	5件
	船 舶	2件	0件	2件
	航 空 機	0件	0件	0件
	そ の 他	219件	162件	57件
損 害	焼損床面積	5,813㎡	6,846㎡	△ 1,033㎡
	死 者	22人	25人	△ 3人
	焼死等	18人	24人	△ 6人
	放火自殺	4人	1人	3人
	負 傷 者	109人	108人	1人
横浜市内 主な出火原因				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
1 放火(疑い含む)	170件	115件	55件	
2 たばこ	128件	110件	18件	
3 電気機器	104件	74件	30件	
4 こんろ	89件	84件	5件	
5 配線器具	39件	30件	9件	

青葉区内 救急状況				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
件 数	15,233件	15,857件	△ 624件	
急 病	10,180件	10,805件	△ 625件	
交 通 事 故	692件	671件	21件	
一 般 負 傷	3,016件	3,059件	△ 43件	
そ の 他	1,345件	1,322件	23件	

横浜市内 救急状況				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
件 数	245,321件	256,481件	△ 11,160件	
急 病	170,054件	180,499件	△ 10,445件	
交 通 事 故	9,031件	9,345件	△ 314件	
一 般 負 傷	45,890件	47,011件	△ 1,121件	
そ の 他	20,346件	19,626件	720件	

行政区別 火災発生状況				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
合 計	778件	678件	100件	
鶴見	61件	48件	13件	
神奈川	39件	42件	△ 3件	
西	28件	38件	△ 10件	
中	95件	93件	2件	
南	55件	41件	14件	
港南	35件	28件	7件	
保土ヶ谷	41件	34件	7件	
旭	45件	34件	11件	
磯子	39件	22件	17件	
金沢	43件	40件	3件	
港北	67件	74件	△ 7件	
緑	36件	16件	20件	
青葉	38件	30件	8件	
都筑	40件	18件	22件	
戸塚	51件	45件	6件	
栄	17件	20件	△ 3件	
泉	26件	27件	△ 1件	
瀬谷	22件	28件	△ 6件	

行政区別 救急状況				
年 別	令和7年	令和6年	増△減	
鶴見	17,832件	18,986件	△ 1,154件	
神奈川	15,518件	15,874件	△ 356件	
西	10,638件	10,807件	△ 169件	
中	17,996件	18,603件	△ 607件	
南	15,257件	15,534件	△ 277件	
港南	14,909件	15,542件	△ 633件	
保土ヶ谷	12,798件	13,481件	△ 683件	
旭	15,823件	16,995件	△ 1,172件	
磯子	11,007件	11,674件	△ 667件	
金沢	12,918件	13,684件	△ 766件	
港北	19,677件	20,313件	△ 636件	
緑	11,017件	11,838件	△ 821件	
青葉	15,233件	15,857件	△ 624件	
都筑	10,580件	10,984件	△ 404件	
戸塚	18,065件	18,821件	△ 756件	
栄	7,769件	8,127件	△ 358件	
泉	10,109件	10,495件	△ 386件	
瀬谷	8,117件	8,816件	△ 699件	
市外	58件	50件	8件	

※本年数値は速報のため、変更することがあります。

横浜市青葉消防署

# 横浜市人口ニュース No.1193(令和8年1月1日現在)

横浜市政策経営局総務部統計情報課 TEL(045)671-4201

## 人口総数 3,769,748 人

対前月比  $\Delta 1,587$  人  $\downarrow$   
 対前年同月比  $+164$  人  $\uparrow$

## 世帯総数 1,838,721 世帯

※令和2年国勢調査結果(確定値)を基礎とし、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加減して算出した推計人口です。

※令和7年国勢調査結果が公表され次第、本人口ニュースの人口・世帯数等を再推計し、改めて令和7年国勢調査結果を基礎とした数値を公表する予定です。

(令和7年国勢調査速報値に基づく数値：令和8年4月頃予定、確定値に基づく数値：令和8年10月頃予定)

### 1 横浜市の世帯数と人口

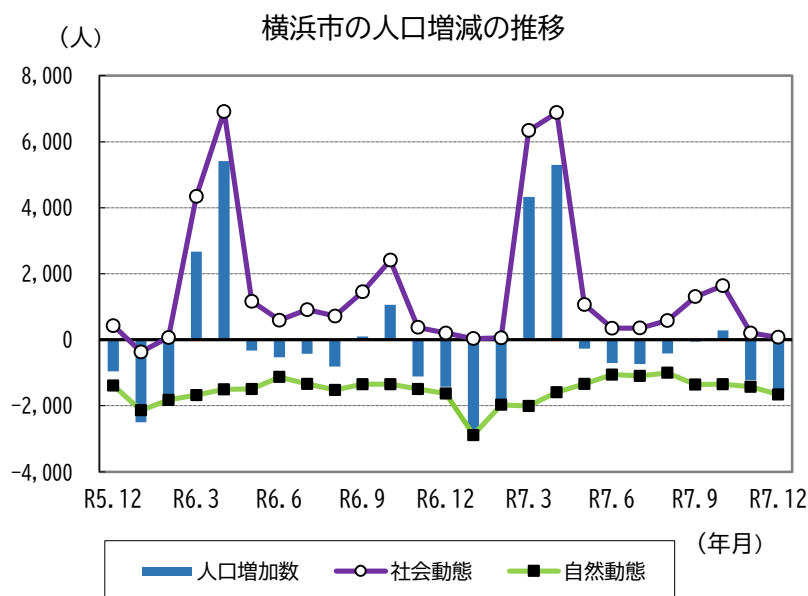
令和8年1月1日現在推計

区分	世帯数	人口			1世帯 当たり 人員	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 密度 (人/km <sup>2</sup> )	届出による 前月比増減		前年同月 比の増減
		総数	男	女				世帯数	人口	
横浜市	1,838,721	3,769,748	1,857,161	1,912,587	2.05	438.23	8,602	-564	-1,587	164
鶴見区	153,353	298,842	154,261	144,581	1.95	33.21	8,999	-151	-223	1,331
神奈川区	138,764	253,926	129,016	124,910	1.83	23.73	10,701	-81	-78	2,143
西区	61,421	108,596	54,889	53,707	1.77	7.03	15,448	-68	-58	1,176
中区	91,036	154,259	78,295	75,964	1.69	22.01	7,009	-25	-88	818
南区	110,547	199,550	99,264	100,286	1.81	12.65	15,775	-115	-198	280
港南区	98,252	210,948	102,298	108,650	2.15	19.90	10,600	-35	-133	-763
保土ヶ谷区	103,138	205,389	100,593	104,796	1.99	21.93	9,366	-20	-89	123
旭区	109,969	239,735	115,251	124,484	2.18	32.73	7,325	47	6	-766
磯子区	80,838	163,595	80,462	83,133	2.02	19.02	8,601	-53	-145	-840
金沢区	91,586	192,172	93,110	99,062	2.10	30.95	6,209	47	-38	-1,019
港北区	186,085	367,741	183,139	184,602	1.98	31.40	11,711	29	72	2,036
緑区	83,313	182,138	89,272	92,866	2.19	25.51	7,140	-41	-115	-460
青葉区	137,726	306,515	147,382	159,133	2.23	35.22	8,703	-106	-220	-1,360
都筑区	90,166	214,005	104,297	109,708	2.37	27.87	7,679	6	-142	-693
戸塚区	127,313	281,920	137,092	144,828	2.21	35.79	7,877	20	-6	-280
栄区	54,930	119,602	57,911	61,691	2.18	18.52	6,458	-34	-116	-741
泉区	65,193	150,005	72,403	77,602	2.30	23.58	6,362	4	24	-431
瀬谷区	55,091	120,810	58,226	62,584	2.19	17.17	7,036	12	-40	-390

\* 面積は、国土地理院の「全国都道府県市区町村別面積調」(令和7年10月1日時点)を使用しています。

### 2 世帯数及び人口の推移

区分	世帯数	人口
3年10月1日	1,767,218	3,775,352
4年10月1日	1,781,879	3,771,961
5年10月1日	1,799,480	3,771,766
6年10月1日	1,817,762	3,771,063
7年10月1日	1,838,206	3,772,267
直近12か月の推移		
7年1月1日	1,819,315	3,769,584
7年2月1日	1,818,320	3,766,732
7年3月1日	1,818,337	3,764,821
7年4月1日	1,827,978	3,769,150
7年5月1日	1,834,488	3,774,447
7年6月1日	1,835,664	3,774,179
7年7月1日	1,836,601	3,773,476
7年8月1日	1,836,843	3,772,737
7年9月1日	1,836,882	3,772,320
7年10月1日	1,838,206	3,772,267
7年11月1日	1,839,463	3,772,554
7年12月1日	1,839,285	3,771,335
8年1月1日	1,838,721	3,769,748



### 3 前月中の人口動態（行政区別）

令和7年12月中

区 分	社 会 動 態								自 然 動 態			人 口 増 減
	市 外 移 動			市 内 移 動			その他 増 減	社 会 増 減	出 生	死 亡	自 然 増 減	
	転 入	転 出	増 減	転 入	転 出	増 減						
横浜市	9,714	9,608	106	5,552	5,550	2	-35	73	1,868	3,528	-1,660	-1,587
男	5,036	5,221	-185	2,828	2,827	1	-32	-216	980	1,853	-873	-1,089
女	4,678	4,387	291	2,724	2,723	1	-3	289	888	1,675	-787	-498
鶴見区	973	1,027	-54	265	317	-52	-6	-112	147	258	-111	-223
神奈川区	873	770	103	448	559	-111	-23	-31	142	189	-47	-78
西区	400	383	17	250	306	-56	-9	-48	70	80	-10	-58
中区	633	556	77	361	349	12	-54	35	44	167	-123	-88
南区	565	561	4	380	461	-81	19	-58	87	227	-140	-198
港南区	303	333	-30	308	291	17	-3	-16	85	202	-117	-133
保土ヶ谷区	435	466	-31	390	350	40	13	22	93	204	-111	-89
旭区	408	377	31	410	253	157	4	192	111	297	-186	6
磯子区	357	345	12	284	314	-30	-12	-30	73	188	-115	-145
金沢区	457	382	75	197	201	-4	6	77	87	202	-115	-38
港北区	1,278	1,188	90	568	562	6	5	101	268	297	-29	72
緑区	351	435	-84	258	218	40	2	-42	97	170	-73	-115
青葉区	848	938	-90	212	269	-57	11	-136	148	232	-84	-220
都筑区	500	576	-76	287	313	-26	12	-90	107	159	-52	-142
戸塚区	604	562	42	375	294	81	6	129	123	258	-135	-6
栄区	197	230	-33	151	146	5	3	-25	47	138	-91	-116
泉区	278	257	21	243	164	79	-13	87	83	146	-63	24
瀬谷区	254	222	32	165	183	-18	4	18	56	114	-58	-40

※「その他」は、職権による記載と消除等です。

### 4 年次別人口動態

区 分	社 会 動 態								自 然 動 態			人 口 増 減
	市 外 移 動			市 内 移 動			その他 増 減	社 会 増 減	出 生	死 亡	自 然 増 減	
	転 入	転 出	増 減	転 入	転 出	増 減						
令和3年中	139,021	131,362	7,659	70,660	70,628	32	-491	7,200	24,876	36,333	-11,457	-4,257
4年中	148,132	135,172	12,960	67,236	67,210	26	319	13,305	23,785	39,524	-15,739	-2,434
5年中	149,213	133,972	15,241	67,131	67,112	19	857	16,117	22,954	39,446	-16,492	-375
6年中	151,791	134,061	17,730	65,149	65,137	12	1,060	18,802	22,137	40,575	-18,438	364
令和7年中	152,685	134,070	18,615	66,082	66,068	14	267	18,896	21,831	40,563	-18,732	164

#### \*\* 統計情報課からのお知らせ \*\*

##### ● 統計メールマガジン<はまめる>

毎月、横浜市の人口をはじめとした統計情報をお届けします。

<https://ml.city.yokohama.lg.jp/sympa/info/stat-ml>



##### ● 横浜市LINE公式アカウント

人口ニュースをLINEで提供します。友だち登録後、受信設定で、「お知らせ」の配信登録をお願いします。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/koho/sns/line/line-official.html>



##### ● SmartNews「横浜市チャンネル」

人口ニュースをSmartNewsで提供します。「横浜市チャンネル」の追加をお願いします。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city->



##### ● X「横浜市広報」

人口ニュースをXで提供します。アカウントのフォロー、リポストやいいねをお願いします。

[https://x.com/yokohama\\_koho](https://x.com/yokohama_koho)

